

授業名：【選択科目】医療事務入門（正課）

担当教員：加賀智恵子

時間数：全14回・23時間

開講日：9月22日

曜日・時間：月曜2限（11:00～12:40）

授業形態：対面

科目概要：

医療事務は、病院・クリニックなどで医療事務を担う専門職であり、医療事務検定は、医療事務協会が実施する資格・検定である。医療保険制度の専門的な知識から、医療事務の実践的なスキルである医療費算定の知識を修得するものであり、合格者は医療機関で活躍することが期待できる。この科目では、医療事務の資格や仕事内容を理解し、医療事務検定の合格に必要な基礎的な知識と技能を修得し、資格取得を目指すとともに医療や健康的な生活への意識を涵養する。

到達目標：

- ・医療事務全体の資格や仕事内容を理解し、医療事務検定の合格および医療事務の仕事に従事する上で必要とされる専門的な知識・技能を理解し、具体的に説明することができる。
- ・出題範囲である、患者接遇、基本診療料、医療事務知識（医療保険制度や各種法令等、診療報酬算定等）に関して、修得した知識・技能を活用して、問題を解決することができる。
- ・医療保険制度の基礎知識、患者接遇マナーや職場でのコミュニケーションスキル、医療費の算定方法等に関する知識を多角的に捉え、自ら問題に取り組み、修得した能力を継続して向上させることができる。
- ・医療事務検定に必要とされる知識・技能を生かして、日常生活に役立てることができる。

合格目標：

- ・医療事務全体の資格や仕事内容を理解し、医療事務検定および医療事務の仕事に従事する上で必要とされる専門的な知識・技能を理解し、説明することができる。
- ・出題範囲である、患者接遇、基本診療料、医療事務知識（医療保険制度や各種法令等、診療報酬算定等）に関して、修得した知識・技能を活用して、最低限の問題を解決することができる。
- ・医療保険制度の基礎知識、患者接遇マナーや職場でのコミュニケーションスキル、医療費の算定方法等に関する知識を基に、修得した能力を継続させることができる。
- ・医療事務検定に必要とされる最低限の知識・技能を生かして、日常生活にある程度役立てることができる。

授業概要

回	日	授業内容	授業形態
1	9/22	【主題】オリエンテーション、医療事務の基礎知識 【学修目標】受付・会計・請求・医療保険制度・医療事務の基礎知識について理解する。 【学修活動】 ・受付・会計・請求・医療保険制度・医療事務の基礎知識について説明する。 ・医療保険制度について、「社保」「国保」「後期高齢者」についてと医療関連法規について等をテキストで説明する。 ・授業内で、小テスト（医療保険制度）を行い、授業の理解度を確認する。 ※この科目の到達目標、カリキュラムマップに記載のディプロマ・ポリシーとの対応関係、履修系統図を用いた当該科目の教育課程上の位置付けとその後の履修の流れを説明します。	対面
2	9/29	【主題】基本診療料A 【学修目標】基本診療料Aとして初診料・再診料の基本を理解する。 【学修活動】 ・基本診療料Aとして初診料・再診料の基本（テキストP.32～P.44）を説明する。 ・基本診療料の性格と内容を説明する。 ・初診料・再診料の算定原則を学習しカルテ問題集（No.1～No.8）で算定練習を行い、1診療時ごとの会計欄の記載方法を習得する。 ・授業内で、小テスト（基本診療料A）を行い、授業の理解度を確認する。	対面

3	10/6	【主題】基本診療B 【学修目標】初診料・再診料の応用を理解する。 【学修活動】 ・前回の基本診療料の復習する。 ・初診料・再診料の応用（P.45～P.47）を説明する。 ・同一日に複数科受診した際の基本診療について学習し、カルテ問題集（No.9・No.10）で算定練習を行い、会計欄の記載方法を習得する。 ・授業内で、小テスト（基本診療料A・B）を行い、授業の理解度を確認する。	対面
4	10/13	【主題】薬剤計算・投薬・処方箋料 【学修目標】薬剤計算の方法、保健医療機関内で直接薬剤を渡す「院内処方」と処方箋を渡す「院外処方」を理解する。 【学修活動】 ・テキストで薬剤計算の方法、保健医療機関内で直接薬剤を渡す「院内処方」と処方箋を渡す「院外処方」説明する。 ・「院内処方」か「院外処方」かの判断の仕方、算定原則を説明し、会計欄記載方法を学習する。 ・カルテ問題集（No.1～No.6）で算定練習を行い、会計欄の記載方法を習得する。 ・授業内で、小テスト（薬剤計算）を行い、授業の理解度を確認する。	対面
5	10/27	【主題】注射・医学管理等 【学修目標】前回の薬剤計算の復習し理解を深める。注射の算定方法、医学管理とは何かを理解する。 【学修活動】 ・前回の薬剤計算の復習する。 ・テキストで注射の算定方法、医学管理とは何かを説明する。 ・注射の算定方法、医学管理とは何かを説明する。 ・注射算定原則を説明し、会計欄記載方法を学習する。 ・カルテ問題集（No.7～No.10）で算定練習を行い、会計欄の記載方法を習得する。 ・授業内で、小テスト（注射・医学管理）を行い、授業の理解度を確認する。	対面
6	11/3	【主題】前回までの確認テスト、注射の復習、在宅医療・処置A 【学修目標】在宅医療・処置とは何かと算定方法を理解する。 【学修活動】 ・テキストで在宅医療・処置とは何かと算定方法を説明する。 ・カルテ問題集（No.1～No.10）で算定練習を行い、会計欄の記載方法を習得する。 ・授業内で、小テスト（処置・在宅医療）を行い、授業の理解度を確認する。	対面
7	11/10	【主題】処置B・リハビリテーション 【学修目標】処置・リハビリテーションとは何かと算定方法を理解する。 【学修活動】 ・テキストで処置・リハビリテーションとは何かと算定方法を説明する。 ・カルテ問題集（No.11～No.14）で算定練習を行い、会計欄の記載方法を習得する。 ・授業内で、小テスト（処置・リハビリテーション）を行い、授業の理解度を確認する。	対面
8	11/17	【主題】手術・麻酔 【学修目標】手術・麻酔とは何かと算定方法を理解する。 【学修活動】 ・テキストで手術・麻酔とは何かと算定方法を説明する。 ・カルテ問題集（No.15・No.16）で算定練習を行い、会計欄の記載方法を習得する。 ・授業内で、小テスト（手術・麻酔）を行い、授業の理解度を確認する。	対面
9	11/24	【主題】検査A（検体検査） 【学修目標】「検査の構成」と「検体検査」とは何かと算定方法と検体検査に係る加算について理解する。 【学修活動】 ・テキストで「検査の構成」と「検体検査」とは何かと算定方法と検体検査に係る加算についてを説明する。 ・カルテ問題集（No.18）で算定練習を行い、会計欄の記載方法を習得する。 ・授業内で、小テスト（検査A）を行い、授業の理解度を確認する。	対面

1 0	12/1	【主題】 検査B（生体検査・病理診断） 【学修目標】 【学修活動】 ・テキストで「生体検査」と「病理診断」とは何かと算定方法についてを説明する。 ・カルテ問題集（No.17・No.19）で算定練習を行い、会計欄の記載方法を習得する。 ・授業内で、小テスト（検査B 病理診断）を行い、授業の理解度を確認する。	対面
1 1	12/8	【主題】 画像診断 【学修目標】 画像診断とは何かと算定方法について理解する。 【学修活動】 ・テキストで 画像診断とは何かと算定方法についてを説明する。 ・カルテ問題集（No.17～No.20）で算定練習を行い、会計欄の記載方法を習得する。 ・授業内で、小テスト（画像診断）を行い、授業の理解度を確認する。	対面
1 2	12/15	【主題】 外来までの確認テスト 【学修目標】 外来までの学習到達度を確認する。 【学修活動】 ・外来までの確認テストにより学習到達度を確認する。	対面
1 3	12/22	【主題】 入院 【学修目標】 入院とは何かと入院時の「食事療養費」「投薬」「注射」等の算定方法について理解する。 【学修活動】 ・テキストで 入院とは何かと入院時の「食事療養費」「投薬」「注射」等の算定方法についてを説明する。 ・カルテ問題集（No.21～No.25）で算定練習を行い、会計欄の記載方法を習得する。 ・授業内で、小テスト（入院）を行い、授業の理解度を確認する。	対面
1 4	1/19	【主題】 請求事務関連等・窓口マナー・検定対策 【学修目標】 請求事務や窓口マナーとは何かについて理解する。 【学修活動】 ・テキストで 請求事務や窓口マナーとは何かについてを説明する。 ・検定試験対策問題の答え合わせを行いながら、検定対策を行う。 ※授業アンケートに回答する時間を設ける。	対面

<評価の基準>

S	A	B	C	D	X
100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	－
到達目標を超えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標と合格目標の間にあるレベルを達成している	合格目標を達成している	合格目標を達成できていない	受験資格無、レポート・課題未提出等

<成績評価について>

- (1)平常点（各項目ごとの小テストの理解度）・・・・・・・・・・30％
 (2)12回目授業内で行ったテスト（外来算定までの理解度）・・・50％
 (3)定期試験（医療事務検定試験）・・・・・・・・・・・・・20％